

福島ロータリークラブ会報



持続可能なインパクトを生み出そう

■ <http://www.f-rotary.com/>



[ホームページ]



[Facebook]

2026年

9月3日(木)

vol. 08

■ 例会場／福島市野田町1丁目10-41 エルティ ■ 例会日／木曜日 12:30
■ 事務所／福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F ■ TEL.024-536-1010 FAX.024-536-1011
■ mai / f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

本日のプログラム

- 米山記念奨学生スピーチ 包 鳥日古木拉 (ハウ ウリグムラ) さん
- 会員スピーチ 東京海上日動火災保険株福島支店 支店長 沼田 望 会員

会長あいさつ



2026-27 年度会長 横山 淳

皆さん、こんにちは、本日は米山留学生の包さんのスピーチ、また、入会以降ご活躍の支店長シリーズ第1弾とし東京海上の沼田会員にお話をお願いしています。

さて、今月と来月は日本独自の月間テーマが設定されています。今月は「ロータリーの友月間」です。

今当クラブでは毎月第2週目に公共イメージ委員会の方がその月の「ロータリーの友」の解説をしています。いつから始めたものかわかりませんが、すばらしい企画だと思います。そのお陰で当クラブ会員は「ロータリーの友」に親しんでおります。「機関誌の購読」はロータリーの3大義務の一つですね。今月号の紹介・解説は来週の委員にお任せし、「ロータリーの友」という月刊誌についてお話をさせていただきます。

まず、発行部数ですが、以前相良会員からもお話に出たことありますが、現在84,700部前後、会員数の多かったピーク時1997年頃は14万部を超えていたようです。ご承知のように「ロータリーの友」は1953年1月に創刊された国際ロータリー認定の日本における公式地域雑誌です。このような地域雑誌は世界で30以上あります。本家「Rotary」は50万部、意外なのはインド・ネパール版が次で155,000部も発行されています。会員数もアメリカに次ぐようです。その次が日本、そして次が韓国版です。ウクライナ版もあるようです。当然ですが各発行部数は会員数にリンクしています。

さて、「ロータリーの友」には、ロータリーの理念や活動を共有するクラブどうしをつなぐ「架け橋」的な役割もあるのではないのでしょうか。横書きは、世界中のロータリアンが共通で認識すべきとRI本部が指定したRIマークの付いた「RI指定記事」、これはすべての地域雑誌に掲載されます。また、国際的な話題やグローバルな視点の記事です。一方縦書きは日本各地のクラブの活動事例や取り組み、また地域文化が紹介され、「繋がり」というものを感じることができます。スポGOMIやワークウェア例会など大きく紹介され、素晴らしい発信であったことは皆さんご承知のとおりです。読むだけでなく発信することも大切です。個人の投稿のスペースもありますので皆さん是非。

最後に「広告媒体」としての価値も高いのではないかと思います。月刊誌としたら発行部数は多いです。毎年12月号、1月号に、東京の旅行代理店の国際大会参加ツアーの1ページ広告が載っていますがそれ以外あまり見たこ

例会次第

- 国歌斉唱、ロータリー・ソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 氏家有紀 会員



氏家有紀 会員

- 「四つのテスト」唱和 佐藤美奈子 委員



佐藤美奈子 委員

- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
相良元章 SAA

米山記念奨学生
包 鳥日古木拉 (ハウ ウリグムラ) さん



ハウウリグムラさん

- 米山記念奨学金 9月分支給
米山記念奨学生 包 鳥日古木拉 さん

- 9月誕生お祝い

- 各委員会報告
例会小委員会 ニコニコBOX担当
村山由美子 委員



村山由美子 委員

幹事報告

- 本日、例会終了後エルティロビーにて「親睦小委員会」を開催いたします。委員の皆さまは、よろしくお願いいたします。
- また、本日18時より「ウィズもとまち」にて9月理事会を開催いたします。役員、理事の皆さまはよろしくお願いいたします。
- 9/5(土) 福島72ゴルフ部コンペが開催となりますので、よろしくお願いいたします。
- 9/27(日) 開催「第6回スポGOMI大会inふくしま」につきまして、賞品協賛、古本のご提供を賜れますと幸いです。何卒よろしくお願いいたします。
- 9月ロータリーレートは1ドル160円となりますのでお知らせいたします。



藤井 守 幹事

とがありません。広告料金は1ページ36万円から、表2、表3カラーで68万円と破格で安いです。同様な発行部数の月刊誌の何分の一かです。読者層がある程度特定されているわけですから、広告の訴求効果も高いと思われます。ウチのクラブの会員で全国にお客様、全国にマーケットがある会社は本社宣伝部に提案されたいかがでしょう。しかし、金融・投資関係の広告は当然広告倫理綱領などがあるでしょうから企業イメージ広告となるかもしれませんが、検討する価値はあると思います。少々長くなりましたが「ロータリーの友」を改めて見つめ直すことを思い第8回会長挨拶とさせていただきます。

本日のプログラム

米山記念奨学生スピーチ



米山記念奨学生
包 烏日古木拉さん
(ホウ ウリグムラ)

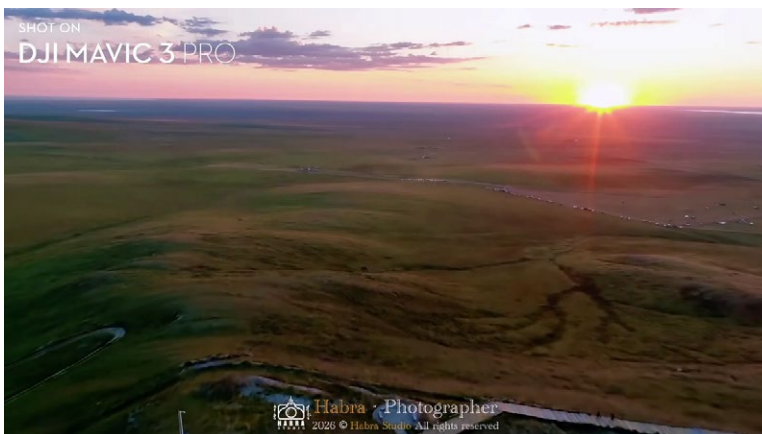
第一部 自己紹介と故郷

皆様、こんにちは。

福島大学大学院地域デザイン科学研究科、修士1年の包烏日古木拉、ホウ・ウリグムラと申します。少し長い名前ですので、普段は皆さんから「ホウ」と呼んでいただいております。本日は、このような貴重な機会をいただき、本当にありがとうございます。今日は研究の話ではなく、私自身のこと、私が育った故郷のこと、そして日本に来てから福島でどのような方々と出会い、どのような経験をしてきたのかについて、お話しさせていただきたいと思います。

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は、中国の内モンゴル自治区の出身です。私の名前の「ウリグムラ」には、モンゴル語で「万物が生き生きと成長する」という意味があります。日本ではあまり聞かない名前だと思いますので、自己紹介をすると、「どういう意味ですか」と聞かれることがあります。私はこの名前をとっても気に入っています。というのも、私が生まれ育った場所も、自然と非常に深い関わりのあるところだからです。



・私の故郷

- ・ホルチン草原(通遼市)出身
- ・広大な草原で有名(7月末～8月が一番美しい季節)
- ・中国東北地方に近く、東北方言も話せます

「内モンゴル」と聞くと、皆さんはどのような景色を想像されるでしょうか。もしかすると、最初に「砂漠」を思い浮かべる方も多いかもしれません。もちろん、内モンゴルには砂漠もあります。しかし、実は広大な草原でも非常に有名な地域です。内モンゴルには、シリンゴル草原やフルンボイル草原など、いくつもの有名な草原があります。その中で、私が生まれ育ったのは「ホルチン草原」と呼ばれる地域です。具体的には、通遼市にある「ガンチ力」というところで生まれ育ちました。少し分かりにくいと思いますので、福島県に例えてみますと、私の感覚では、福島県の中の郡山のようなイメージです。

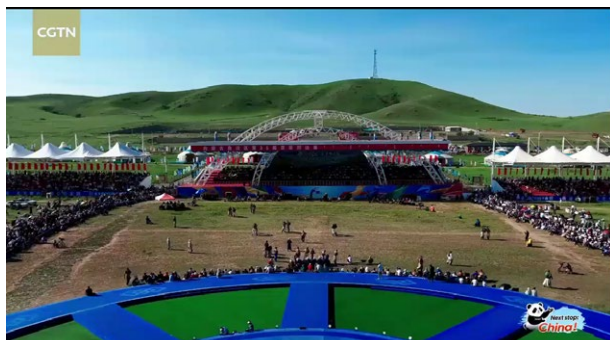
私の故郷が一年の中で最もきれいになるのは、7月から8月頃です。春や冬の草原は、皆さんが想像するほど緑ではありません。ところが夏になると、草原が一気に緑になります。空が非常に広く、遠くまで草原が続いていて、風が吹くと草全体が波のように動きます。私は子どもの頃から見慣れている景色ですが、日本に来て長く生活するようになってから、改めて「あの景色は特別だったんだな」と感じるようになりました。そして、ちょうど草原が最も美しくなる7月から8月頃に、内モンゴルの各地で盛んに行われる伝統行事があります。

それが、これからご紹介する**「ナーダム」**です。

第二部 ナーダムとモンゴルの文化

「ナーダム」という言葉を、初めて聞く方もいらっしゃるかもしれません。ナーダムは、モンゴル民族にとって非常に重要な伝統行事です。簡単に言えば、スポーツ大会とお祭りと文化交流を一つにしたような行事です。ただ、言葉だけで説明してもなかなかイメージしにくいと思いますので、ここで少し映像をご覧くださいと思います。

——こちらの映像をご覧ください。これは、今年行われたナーダムの開会式の様子です。映像を見ていただくと分かると思いますが、とにかく人が多いです。地元の人だけではなく、中国国内のさまざまな地域から観光客が来ますし、最近では海外から参加する方や観光に来る方も増えています。開会式の日には、普段は静かな草原が一気ににぎやかになります。会場には色鮮やかなモンゴルの民族衣装を着た人たちが集まり、馬に乗った人たちもたくさんいます。伝統音楽が流れ、歌や踊りのパフォーマンスも行われます。そして、開幕を祝って、たくさんの礼砲が鳴らされるこ



ともあります。広い草原の中に大きな音が響き渡るので、現場で聞くとかなり迫力があります。映像ではなかなか伝わらないかもしれませんが、青い空、緑の草原、民族衣装、馬、音楽、そして大勢の人が一つの場所に集まるので、普段の草原とはまったく違う雰囲気になります。

私たちにとってナーダムは、単に「競技を見る日」ではありません。普段は別々の場所で生活している家族や友人が集まったり、民族衣装を着たり、伝統的な料理を食べたりしながら、一緒に一日を楽しむ機会でもあります。

では、ナーダムでは実際に何ををするのでしょうか。

ナーダムを代表するものとして、昔から**「男児三芸」**と呼ばれてきた三つの競技があります。それが、モンゴル相撲、競馬、弓射です。

まず、モンゴル相撲です。モンゴル相撲は、モンゴル語で「ブフ」と呼ばれています。選手は「ゾドグ」と呼ばれる伝統的な衣装を身につけて試合をします。日本の相撲をご存じの皆さんからすると、少し不思議に感じるルールもあります。まず、土俵がありません。そして、基本的には相手の膝より上の部分を地面につければ勝ちになります。さらに、日本の格闘技のような体重別の階級もありません。ですから、かなり体格の違う二人が対戦することもあります。大きい人が必ず勝つわけではなく、相手の力を利用したり、バランスを崩したりする技術も非常に重要です。一回勝負ですので、一瞬の判断で勝敗が決まることもあります。そのため、会場で見るとかなり盛り上がります。



次に、競馬です。モンゴルの競馬は、日本で皆さんがイメージされる競馬とはかなり違います。日本の競馬は競馬場のコースを走りますが、ナーダムでは広い草原そのものがコースになります。距離も非常に長く、短いものでも10キロから20キロ、長いレースになると30キロから50キロほど走ることがあります。そして、特徴的なのが騎手です。伝統的なナーダムでは、若い騎手が馬に乗って競争します。小さな体で馬を操りながら、広い草原を一齐に走ってくる姿は、本当に迫力があります。ゴール付近になると、観客も大きな声で応援します。優秀な成績を収めた馬は非常に大切にされ、ハダを捧げるなど、祝福をする習慣もあります。

そして三つ目が、弓射です。これもモンゴル民族の長い歴史と深く関係しています。伝統的な弓を使っているの狙います。地上から射るものだけではなく、馬に乗りながら弓を射る騎射もあります。走っている馬の上で姿勢を保ちながらの狙うので、実際に見ると非常に難しい競技だということが分かります。

ここまで「男児三芸」と紹介しましたので、「では、女性は参加しないのですか？」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。実際には、現在のナーダムでは女性が活躍する競技もたくさんあります。こちらの映像のように、女性が参加する力比べのような競技や、男女が一緒に参加する種目もあります。私の故郷では、女性でもかなり力の強い人が多いです。見た目は細くても、意外と力があります。

これは私の個人的な感覚ですが、子どもの頃から牛肉や羊肉などをよく食べる食文化や、草原での生活も多少関係しているのかもしれませんが。(笑) ですから、私たちの地域では「これは男性のものだから女性はできない」という感覚は、意外と強くありません。馬に乗ることも、弓を使うことも、力を使う競技も、女性が参加することは珍しくありません。ナーダムでは、そうした姿を見ることもできます。もし皆様も機会がありましたら、ぜひ夏の内モンゴルに遊びに来ていただけたらと思います。特に7月、8月の草原は本当にきれいです。今日は少しだけ、故郷のPRもさせていただきました。(笑)



東京海上日動火災保険株
福島支店 支店長

沼田 望 会員

東京海上日動の沼田です。今日はお時間を頂戴いたしまして大変光栄でございます。よろしくお願いいたします。私からは、外から来た私が見て感じた福島の宝、これがどのようなものかなという風に思いまして、まとめてみました。どうぞよろしくお願いいたします。

写真は、伊勢丹写真館で撮りました。これ修正も結構入ってます。色白だったりとかする修正かけてるんですけど、妻に見せたら「遺影に使えます」という風に言われました。右側のスライドは、遠目で見ると私に似てるかなということで、これ近くにしますと、水戸黄門の格さんの伊吹吾郎さんですね。その右がですね、ジェロム・レ・パンナというK-1ファイターです。



福島と私の繋がりでですけど、仕事をきっかけに福島には来しました。休日、特に冬場ですね、写真にありますように雪降ってる中でキャンプをするのが大好きです。雪降ってる寒い中で焚き火をしながら火を見ていると、2時間、3時間あっという間に過ぎちゃいます。



このキャンプ場っていうのは、まさに宝です。私、一番好きなキャンプ場が安達太良のフォレストパークっていうところなんですけれども、ヒロシの「ぼっちキャンプ」の第1回目のキャンプ場も福島のおそこなんです。これ、誇っていい、福島の誇っていい宝だと思っております。

続いて桃です。桃は私大好きで、特に朝採れたての硬い桃ですね、皮ついたまま食べるのが僕はとっても好きですね。これ福島の宝です。

それで、実は家族でボランティアに行ってきました。写真は妻と息子なんですけれども、5時半から桃を収穫させてもらって、仕分けをして箱詰めして、道の駅で販売するまでやらせていただきました。

この最後に桃もいただいてですね、「ボランティアなのに本当にありがたいな」って、すごく感謝の言葉を大変たくさんいただいて、大変感激しました。発見も一個ありまして、「詰め放題」というやり方なんです。これ箱詰めにするんですね、商品が傷んだりした時のクレームの対応とか時間が取られちゃうんですけれども、詰め放題だと自分でお客さんが桃を詰めるわけですから、後でクレームにもなりづらいということで、これが流行ってると伺いました。こういうところにも人手不足っていうのが影響してるんだなと感じました。

続いて出会った皆様。皆様が福島の宝です。いつもロータリーに所属しているとですね、いつも皆さん感謝の言葉をくださいます。「郡山から出てきてくれてありがとう」とか、「手間だったね、大変だったね、ありがとう」って。私にとっては皆さん、出会った皆さんが宝だと思っております。



それで写真なんですけども、前の三津の支店長の村山君が写ってますけど、彼とは同級同卒です。あと、中川君とも同級同卒です。そういった皆さんと出会えたのも、福島ロータリークラブに所属したからこそで、「ありがとう」といつも言うてくださいますけど、それを言うべきは私の方です、という風に思っております。

続いて出会った逸品ということで書かせていただきます。これは浄土平というところで出会った檜（ひのき）のコップになります。ご年配の方が売ってたんですけども、うっすらと檜の匂いがして、香りがしてとてもいい香



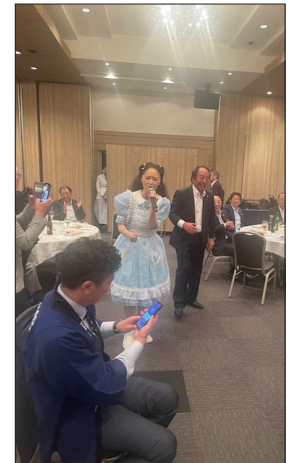
りなんですけど、これに日本酒を入れて飲むと、またさらに香りが立っておいしいと。これ3,000円ぐらいかなと思ったら、1,700円、800円で売ってるんですね。とても安いと思ってます。こういった福島の宝に正しい値段が付けば、さらに儲かんのになと。儲かれば若い人たちが来てくれる、みたいな循環が生まれるのにな、という風に思ってます。

続いて私の宝ということで、ロータリーですね。所属させていただいてること自体が私にとっての宝です。一個逸話があって、私はずっと前に函館ロータリーに所属していましたが、函館のゴルフ場で15年ぶりぐらいにロータリアンの方とお会いしたんですね。「どこで会っても『やあ』と言ひ合おうよ」という言葉がございましたけれども、本当に「やあ」と言っていたら、友達のように扱ってくださったんです。そういった意味でもロータリーってすごいなというのを肌で感じましたし、こちらの番号ですね、これ私のロータリーのID番号なんですけども、一生に一人一個だけ与えられる、これがどこへ行っても使えるっていう、こういう貴重な番号で、これは私の宝物にしています。

最後です。最後なんですけれども、このスライドはですね、私が今まで経験したことです。一番左側のものは、鈴木先生の赤十字病院に見学に行かせていただいた時に屋上のヘリポートで撮った写真です。この眺めって素晴らし

いですし、隣には場長も今日いらっやってますけれども、競馬場も見えて本当にいい景色だったと思ってます。その下は猪苗代の水草拾いです。最近少しちょっとお休みになっておりますけれども、これも貴重な経験だったと思います。それと私は「まねた清光」が好きなので、この写真載っけさせていただいておりますけれども、こういった経験は私の中で色濃く残っておりますし、福島の宝ってたくさんあって、それに正しいお値段がつくとさらにいいな、という風に思いながら今過ごしております。

以上となります。ご清聴ありがとうございました。



米山梅吉記念館研修旅行

9月5日(土)～6日(日)の日程で実施された米山梅吉記念館研修旅行に参加いたしました。

記念館の見学を通して米山梅吉先生の功績や奉仕の理念への理解を深めるとともに、参加者同士の親睦も一層深まる有意義な研修となりました。

月日曜	行程	食事
9/5 (土)	1,2号車/郡山駅西口/バスロータリー配車 接続列車 福島駅 00000 郡山駅 会津若松駅 00000 郡山駅 いわき駅 00000 郡山駅 06:53 07:41 06:36 07:50 06:42 08:25 郡山駅西口 08:40 郡山南 IC 09:00 上河内 SA 10:00 [15] 10:15 富浦 PA 11:20 [15] 11:35 中井 PA 12:55 [15] 13:10 長泉沼津 IC 13:40 ★お客様お手配 ★お客様お手配 ○米山梅吉記念館 (お墓参り) 14:00 [100] 15:40 ○三島大社 16:00 [40] 16:40 ホテル昭明館 16:45 ★お客様お手配 ホテル …… 三島個室居酒屋 いちどり …… ホテル昭明館 17:55 18:00 [120] 20:00 20:05 ご宿泊: ホテル昭明館	朝: - 昼: ○ (弁当) 夕: ○
9/6 (日)	ホテル昭明館 08:30 長泉沼津 IC 08:50 富士吉田 IC 09:30 ○新倉山浅間公園 09:40 [90] 11:10 ★ランチビュッフェ ○山梨県立富士山世界遺産センター 11:30 [40] 12:10 チョイスキッチン 12:30 [70] 13:40 富士河口湖 IC 14:45 [15] 15:00 狭山 PA 佐野 SA 16:00 [15] 16:15 那須高原 SA 17:15 [15] 17:30 郡山南 IC 18:30 頃 郡山駅西口	朝: ○ (ホテル) 昼: ○ 夕: -





■米山記念奨学生
包 烏日古木拉
(ホウ ウリグムラ) さん



■米山記念奨学生
包 烏日古木拉
(ホウ ウリグムラ) さん

9月誕生お祝い おめでとうございます



■坪井 大雄 会員
昭和34年9月26日
■森岡 幸江 会員
昭和35年9月25日
■菅野 晋 会員
昭和37年9月10日
■佐藤 充孝 会員
昭和54年9月27日

第15回 福島72ゴルフ部コンペ

9/5(土) 第15回福島72ゴルフ部コンペが行われ、野地大輔会員が優勝いたしました。



8月のニコニコBOX賞

8月のニコニコBOX賞は、五阿弥宏安会員、奥一正会員が選ばれました。おめでとうございます。

8/20 vol.06

■五阿弥 宏安 会員

「八月や、六日九日十五日」。この時期になると思い出す句です。平和と鎮魂の思いが込められています。あれから81年。世界は今なお戦火がたえないばかりか、さらにきなくさくなっています。人間は何とおろかなのか。平和への道は、まさに茨の道です。

8/27 vol.07

■奥 一正 会員

先日、8/22(土)に長男が米国オクラホマ州の大学へ留学のため、旅立ちました。笑って見送りと思いましたが、さびしさのあまり、涙がこぼれました。息子のこれからの活躍を見守りたいと思います。

私のひと言



元 株福島民報社 代表取締役専務
元 株民報印刷 代表取締役社長
河田 亨 会員

2026年8月8日、福島民報は1面トップで記事を書いた。福島県は4年余りで人口の10万人が減じた。県のニュースによると「県外だけでワースト8位。大半が関東圏に流れる。若い女性を中心だった。ワースト1位は広島県で両県は似ている。内閣はすでに承知していたのか、文部科学省は来年度予算に「女性研究者対策をすすめる」と書いた。韓国と欧米各国は大学に研究費用を増やしている。アドバイザーの意図を加味している。それを新年度から実行しようというのだ。

福島県では11月に知事選挙を告示している。さまざまな選挙記事があふれる。候補の協力よりも選挙報道が盛んだ。その中で有権者の動きが活発だ。報道を注目したい。

ニコニコBOX報告 本日の投入額 49件 ■報告 村山由美子 委員

[メッセージ会員]

■氏家 有紀 会員

先日、北海道へ夏休みを満喫してきました。観光もできましたがゴルフも2回楽しむことができました。スコアの1つ更新でき、72コンペへ心持ち軽く挑んでいきたいです！！

■沖田 昭 会員

天気の急変に要注意！雨雲レーダーとにらめっこしながら移動してます。

■菅野 晋 会員

誕生祝いありがとうございます。還暦過ぎたので今月で4歳になりました。

■後藤 忠久 会員

孫が免許を取りました。隣に駐車している私の車にぶつけないか、どきどきです。

■小林 仁一 会員

今日は大雨注意してください。

■相良 元章 会員

<今日は何の日？> 1977年の今日、王貞治選手が756号のホームランを放ち世界一となりました。当時10歳の相良少年は、毎日200本の素振りを志しましたが、2日で断念いたしました。

■佐藤 有 会員

沼田さんのスピーチ楽しみにしております。来週は私の番。ドキドキ。

■菅沼 裕 会員

8月は決算で、この1週間仕事ばかりでニコニコネタがあり

ません。今日からまた頑張ります。

■高橋 淳一 会員

8月家族が帰省で念願の一人旅。猪苗代湖畔の景色や会津のそばとお酒を楽しみましたが2週間子供と会わないと段々寂しくなり…。家族の帰京を迎えに、会津からそのまま家に帰りました。

■沼田 望 会員

本日プレゼンさせていただきます。笑いは取れませんが、よろしく願います。

■村上 守人 会員

今日のバースデー席のお花はヒマワリの新品種ダージリンティーです。

■芳見 弘一 会員

ウリグムラさん、沼田さんのスピーチに期待。

■藤井 守 幹事

釣った魚を捌くために出刃包丁を買いました。今後に乞うご期待！

■他に 安藤正明/安部 守/内池 浩/荻野誠也/奥 一正/小原 敏/小原孝嗣/加納武志/五阿弥宏安/児玉健夫/後藤洋伸/古俣 猛/佐藤永之/佐藤久典/佐藤英典/佐藤充孝/佐藤美奈子/佐藤良智/菅原高志/鈴木恭一/鈴木勇人/反後太郎/丹治正博/中尾 勉/仲尾雅至/浪木克文/野地大輔/本多修一朗/本田裕一/増井裕康/村山由美子/森下謙太郎/八巻恵一/山野辺宏/横山 淳/吉田大樹